

科目名	デジタルシチズンシップ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2026			
受講条件		開設時期	1前期	教員実務経験対象				
授業概要(目的、目標と定する資格・検定等)	デジタル社会において安全かつ有益に活動するためのリテラシーと態度を養うとともに、自分自身の幸福と他者・社会の幸福をつなげて考える力を育成する。単なる情報モラル教育にとどまらず、情報流通の構造、人間の心理、感情と情報の関係、不都合な真実に向き合う姿勢を扱い、公共性を踏まえた行動選択を実践する。授業を通して、受講者が自分の「画角(物事の見方)」を自覚し、デジタル空間における多様な視点を理解・尊重できることを目指す。							
授業の一般目標	①デジタル社会の構造や情報の偏りを理解し、自ら情報環境を選択・改善できる。 ②感情と情報の関係性を分析し、判断の偏りに気づく。 ③他者や社会への影響を踏まえた情報発信ができる。 ④デジタル利用におけるウェルビーイングを構造的に考え、持続可能な行動計画を立案できる。(ウェルビーイング概論との繋ぎ)							
受講条件	特になし。日常的にスマートフォン(やPC)等を利用している前提で行う。							
事前学習について(テキスト・参考書等)	授業で扱うテーマに関連するニュースやSNS投稿を日常的に観察・記録することを推奨する。							
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点 情報流通の構造やデジタル社会における公共性を説明できる。								
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点 感情や視点の偏りを分析し、行動に活かせる。								
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 自分や他者のウェルビーイングを意識し、社会的課題への関心を持てる。								
<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点 多様な意見や価値観を尊重し、建設的な対話を行える。								
<input checked="" type="checkbox"/> 技能・表現の観点 情報発信や行動指針を公共性の観点からアウトプットできる。								
授業計画(全体)								
デジタル社会における構造理解と多様な視点の獲得を通じて、公共性を意識した行動指針を策定する。 ① 構造理解と自己分析 … 情報流通の仕組みや感情・視点の偏りを学び、自分の「画角」を分析する ② 他者視点と公共性の理解 … グループワークを通じて多様な視点や他者の経験に触れ、公共性のある発信・行動について検討する ③ 行動指針の策定と発表 … 個人のデジタル行動指針と、その背景にある構造や問いをまとめ、発表・共有する								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	なぜ今、デジタルシチズンシップか 「生きる場」としてのデジタルを捉え直す							
3~4	SNS疲れは、なぜ起きるのか 個人の問題から しくみの問題へ							
5~6	見えている世界は、本当に世界か 情報のカスタマイズと分断の構造							
7~8	反応しないことも、すでにメッセージである 沈黙・いいね・スルーの意味を考える							
9~10	誤解はどこから生まれるのか 自分の認知と言葉の手前を見る							
11~12	誤解はどう広がり、社会的事実になるのか あいまいな情報の連鎖を読み解く							
13~14	デジタルエチケットとは何か 正しさではなく、想像力の技術							
15~16	自分の言葉で捉え直す 5-7回(構造理解)のまとめを、対話的に行う							
17~18	デジタルは 社会にどんな良い変化を起こしてきたか 可能性を 事例から観察する							
19~20	良い影響が生まれる条件とは何か なぜ この人の言葉は嫌にならないのか							
21~22	コミュニケーションのスタイル 私やあの人は何を好むのか							
23~24	言葉にしてみる 私は どんなデジタルシチズンでありたいか							
25~26	他者を想定した「ことば」をつくる この言葉は 世の中に出せそうか							
27~28	言葉を渡しあう 言葉を デジタルではなく、リアル空間に置く							
29~30	私たちが持つちから 不在と存在の間にある影響力							
成績評価方法								
1								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準

定期試験						評価なし	秀、S (4) : 90点以上 優、A (3) : 80点以上 良、B (2) : 70点以上 可、C (1) : 60点以上 不可、E (0) : 59点未満 未修得、履修放棄、F ()内はGPA点数
小テスト						評価なし	
宿題授業外レポート						評価なし	
授業態度						評価なし	
発表・作品						評価なし	
演習						評価なし	
出席						欠格条件	
担当教員	0		実務経験紹介				